



ふせんに料理名と号数を書いて会話のきっかけに。「名前まで書くと恥ずかしいので、区画番号だけにしました」(土井さん)。



テーブルに、 おもてなしを 並べよう！

第23回 コモンシエルジュ

コモンシテイ 緑丘のみなさん

女性コモンシエルジュが集まり、

気軽に参加してもらうために知恵を絞った隣人祭り。

ママたちのおもてなしの気配りがつくる、豪華で楽しいテーブル、

アットホームな雰囲気、隣人たちをやさしくつなげます。

photographs by Masaya Tanaka text by Yasuko Murata

みんなの
おもてなし料理
サイコーね！



手 づくりパンに、一口サイズのお
にぎりやサンドイッチ、ケチャ
ップでキャラクターの顔が描かれた大
きなオムライスなど、カラフルでおい
しそうな料理がテーブルを埋め尽くし
ていく。今回隣人祭りが開かれたのは、

三重県四日市市にある「コモンシテイ
緑丘」。2年前から分譲が始まった、
約180区画の新しい住宅街だ。
「周辺の方とは近所づきあいがあっ
ても、ほかの区画の方と知り合うきつ
かけがない」という住人の声を聞き、



Lohas Club

Since 2004

SOTOKOTO August 2010 152

隣人祭りを提案したのは、「コモンシティ緑丘」を販売管理する積水ハウス四日市支店の長野康弘さん。早い時期に入居した土井陽子さん、矢田有紀さん、俣野明子さんにコンシェルジュを依頼し、住人が主体となって、企画や準備が進められた。

「開催告知のチラシを投函すると、いろいろな質問がありました。多かったのが『主催は積水ハウスなの？』というもの。趣旨が伝わっていないことが分かり、『隣人祭り通信』という第2弾のチラシをつくって配布しました」(矢田さん)

『隣人祭り通信』には、予想される参加者の人数、住人主体で行う趣旨説明などを盛り込み、不足していたスタッフの募集、チェアやテーブルなどの準備の協力も呼びかけた。このチラシを見てさらに5名の女性スタッフが準備に参加。スタッフは一緒に「準備を進める中で、知り合いも増えたとし、みんなできつくりあげていくことがとても楽しかった」と話す。

当日は30組の家族が参加。前半には生活不用品無料交換会を開催、食事会をはさみ、子どもたちが参加する自然見学ツアー、最後にはクイズ大会も行われた。「不用品や料理の持ちよりは会話のきっかけに、自然見学ツアーは子どもをスタッフに預け、大人がゆっくり交流できるように企画。クイズも自己紹介代わりに、全員が参加できる簡単な内容にするため知恵を絞りました」(俣野さん)

今回の隣人祭りはスタッフがすべて女性ということもあり、随所にこまやかな気配りが見られた。住人の方がつくった料理も、手でつまめる子どもも食べやすいものが多く、量も種類もバ



ランスがいい。「料理について質問が多かったのですが、とにかく気軽に来てほしいことを伝え、皆さんにお任せしました。小さな子どもがいるママが多いから、皆さんおてもなしには慣れているのかも」(土井さん)。

ホームパーティの延長のような感覚で、みんながもてなしの気配りを持ちよった楽しいテーブル。手づくり感のあるアットホームな雰囲気は、住人同士の輪を、ふんわりとやさしくつないでいた。



上／緑豊かな公園に隣接する「コモンシティ緑丘」。各住戸の庭も積水ハウスが推進する「5本の樹」計画に基づき、日本の在来種を中心とした樹木が植栽されている。下／合計100名近い住人が集合。最後は記念撮影も。子どもたちの笑顔がまぶしい。

女性コンシェルジュが大活躍！



上／家庭にあるキャンプ用のチェアやテーブル、タープなども活用して会場設営。中左／子育て世代が多いから、子どもをきっかけに会話がはずむ。中右／生活不用品の交換会も、お互いを知るよい機会に。下／子どもたちが参加した自然見学ツアー。その間に大人同士はゆっくりおしゃべり。



la fête des voisins 隣人祭り

公園あり、畑あり、
ユニークな集合住宅で
隣人祭り開催！

おおぜいの人たちが暮らす大規模マンションならではの、敷地の活用やさまざまな取り組みを行っている大阪・伊丹の集合住宅で、野菜の収穫を兼ねた隣人祭りが開催されました。大きなコミュニティでの、顔の見える関係づくり。次号での報告をお楽しみに。

コンシェルジュ募集中！

「隣人祭り」日本支部

〒104-0045
東京都中央区築地7-12-7築地FTSビル5階
一般社団法人人口ハスクラブ内
tel.03-3549-1865
fax.03-3549-1013
<http://www.rinjinmatsuri.jp/>